

平成 30 年度後期授業アンケート結果について

IR 室

平成 31 年 2 月に実施した授業アンケート結果は、以下のとおり。

1. アンケート内容

学生への授業アンケートについては、教員の指導方法など教育内容についてのアンケートのほか、科目ごとの予習・復習の時間を回答させることとしている。その結果を、講義、演習、実習の授業形態別に分けて把握した。

今回のアンケート実施にあたり、学修時間と成績の関連性について分析を進める方針であったが、回答にあたって個人を特定する学籍番号の記入が必要であり、学生の本音が把握しづらいという問題点が指摘され、見送ることとした。

2. 授業形態別の学修時間

(1) 美容デザイン専攻 1 年では、講義に伴う学修時間が少ないことが指摘される。

一般的に学修時間は、実習 > 講義と言われるが、本学の学生についても概ね同様の傾向が見られる。

(2) エステ専攻 1 年では、講義に伴う学修時間が比較的多いことが指摘される。

(3) 国際美容コミュニケーション専攻 1 年では、実習での学修時間の確保が課題である。

特に学習時間 1 時間未満の層を底上げして行くことが課題である。

(4) 美容デザイン専攻 2 年では演習と講義に伴う学修時間の確保が喫緊の課題である。

この要因としては就職活動が早期化しており、学生が十分な学修時間を確保できない可能性も想定される。

(5) エステ専攻 2 年では、実習のアンケートの回答数を増やすことが課題である。

(6) 国際美容コミュニケーション専攻 2 年では、演習と講義に伴う学修時間の確保が喫緊の課題である。特に学修時間ゼロの層のモチベーションをアップして行くことが必要である。

3. 課題

本学では学生に iPad を配布し、授業のほか授業アンケートにも活用している。しかしながら持参しない学生もおり、結果的にアンケートの全体数の底上げにつながっていない。従来からの課題であるが、アンケート総数を増やすことが大きな課題である。

以上

30年度後期授業アンケート結果(数値は%表示)

美容デザイン専攻1年

学修時間	なし	1時間未満	1時間～2時間	2時間超
講義	44.2	35.1	11.7	9.1
演習	31.1	45.9	11.5	11.5
実習	20.7	36.7	26.8	15.8

エステ専攻1年

学修時間	なし	1時間未満	1時間～2時間	2時間超
講義	13.5	43.3	26.9	16.3
演習	14.8	54.1	16.3	14.8
実習	23.8	47.6	23.8	4.8

国際美容コミュニケーション専攻1年

学修時間	なし	1時間未満	1時間～2時間	2時間超
演習	45.1	45.1	6.1	3.7
実習	29.5	52.2	11.4	6.8

(注)国際美容コミュニケーション専攻1年の前期は講義なし

美容デザイン専攻2年

学修時間	なし	1時間未満	1時間～2時間	2時間超
講義	31.4	31.4	28.6	8.6
演習	30.6	36.8	19.2	13.5
実習	16.5	53.2	17.7	12.7

エステ専攻2年

学修時間	なし	1時間未満	1時間～2時間	2時間超
講義	10.0	10.0	10.0	70.0
演習	0.0	10.0	36.7	53.3

(注)エステ専攻2年の実習はアンケート集計できず

国際美容コミュニケーション専攻2年

学修時間	なし	1時間未満	1時間～2時間	2時間超
講義	55.6	22.2	0.0	22.2
演習	55.5	22.2	0.0	22.2

(注)国際美容コミュニケーション専攻2年前期の実習は1科目のみ。アンケート集計できず。

専攻科

学修時間	なし	1時間未満	1時間～2時間	2時間超
演習	0.0	33.3	33.3	33.3